

## 第4章 地球温暖化対策実行計画の進捗状況

### 1 市の施設における温室効果ガス排出量

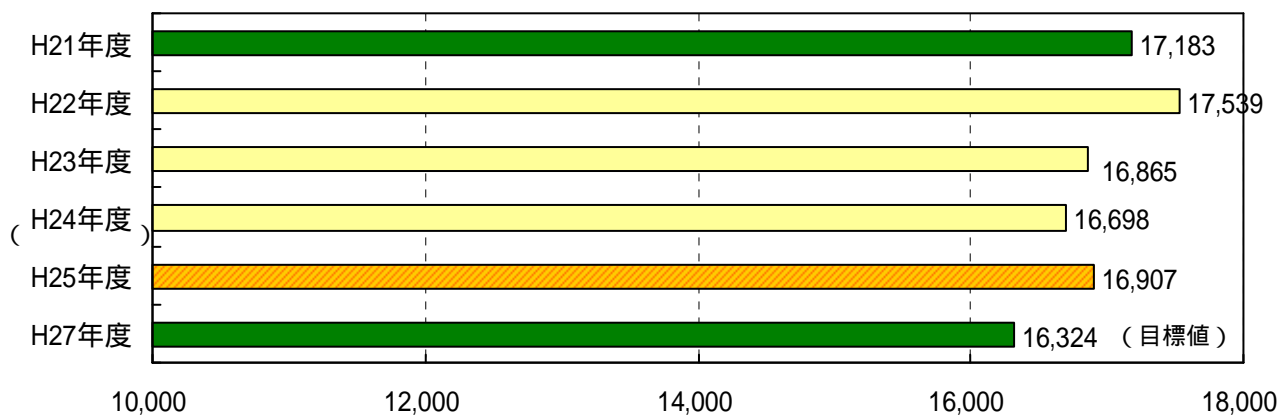
ここでは、島田市地球温暖化対策実行計画に基づく平成25年度の実績値を報告します。

#### 1-1 進捗状況

- 平成25年度に市役所の事務・事業全体から排出された温室効果ガス量は16,907 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度と比較して 1.6% (276 t-CO<sub>2</sub>の削減) という結果でした。

項目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率 (対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
温室効果ガス総排出量	17,183 t-CO <sub>2</sub> /年	16,907t-CO <sub>2</sub> /年 1.6%	16,324 t-CO <sub>2</sub> /年 5.0%

(単位: t-CO<sub>2</sub>)



- 排出された温室効果ガスの内訳をみると、二酸化炭素が全体の約98.8%を占めています。

(単位: t-CO<sub>2</sub>)

項目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	増減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	16,914	16,710	1.2%
メタン (CH <sub>4</sub> )	34	27	20.6%
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	229	166	27.5%
ハイドロフルオロカーボン (HFCs)	6	4	33.3%
パーフルオロカーボン (PFCs)	0	0	-
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0	0	-
温室効果ガス合計	17,183	16,907	1.6%

## 2 取組の状況及び評価

### 2-1 施設におけるエネルギー使用状況

- ・ 電力使用量のうち、8,846,997kWh（全体の23.3%）は田代環境プラザでの自家発電です。
- ・ A重油の主な使用施設は、島田市民病院で628,854L、全体の使用量の64.5%を占めています。
- ・ 灯油の主な使用施設は、川根温泉（232,270L）及び田代環境プラザ（134,245L）で、この2施設で全体の使用量の75.9%を占めています。
- ・ 都市ガスについては、他のエネルギーに比べて温暖化係数が比較的低いため、エネルギー転換の受け皿として目標値を定めていません。
- ・ LPガスの主な使用施設は、田代の郷温泉で45,697m<sup>3</sup>、全体の使用量の35.7%を占めています。

項 目	基準年度(H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
購入電力	28,730,652 kWh	29,079,412 kWh + 1.2%	27,294,120 kWh 5.0%
A重油	1,028,202 L	974,347 L 5.2%	976,792 L 5.0%
灯油	538,604 L	483,161 L 10.3%	511,674 L 5.0%
都市ガス	166,526 m <sup>3</sup>	159,684 m <sup>3</sup> 4.1%	目標値なし -
LPガス	139,127 m <sup>3</sup>	128,148 m <sup>3</sup> 7.9%	132,171 m <sup>3</sup> 5.0%

### 2-2 自動車におけるエネルギー使用状況

- ・ 公用車の適正な運用管理に努め、エコドライブの実施、低公害車への切り換えを推進します。
- ・ 職員によるノーカーデーを実施し、自動車利用抑制の意識付けを図ります。

項 目	基準年度(H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
ガソリン	125,176 L	145,303 L + 16.9%	118,918 L 5.0%
軽油	166,477 L	143,415 L 13.9%	158,154 L 5.0%

項 目	平成21年度	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
ノーカーデー実施率	45.4%	46.8%	-

### 2 - 3 水の有効利用と健全な水循環の形成

- ・水の使用を適正に管理し、節水に努めていきます。
- ・漏水の確認等、管理点検を定期的に行います。

項 目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率 (対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
水使用量	493,229 m <sup>3</sup>	409,948 m <sup>3</sup>	468,568 m <sup>3</sup>
		16.9%	5.0%

### 2 - 4 事務用品の購入・使用における環境配慮

- ・OA用紙については、使用量の削減を図るとともに、総合評価値による評価を行い、環境に配慮した製品の購入を目指します。
- ・環境負荷のできるだけ少ない事務用品等を適正な量だけ購入する（グリーン購入）ことにより、資源の有効利用を図ります。また、行政が率先してグリーン購入を推進することにより、市域全体の環境にやさしい物品の市場拡大を図ります。

項 目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率 (対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
OA用紙使用量 (A4版換算)	26,062,695 枚	26,335,239 枚	22,935,172枚 以下
		+ 1.0%	12.0%

項 目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
グリーン購入率	59%	96.1%	100%

### 2 - 5 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

- ・廃棄物の発生を抑制し、リユース・リサイクルや適正な処理を推進することにより、資源の有効利用を図り、外部への環境負荷の排出を低減します。

項 目	基準年度 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
		増減率 (対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
燃えるごみ量	585,565 kg	659,276 kg	527,009 kg
		+ 12.6%	10%
燃えないごみ量	23,765 kg	22,484 kg	-
		5.4%	-

## 2 - 6 化学物質等の適正管理

- ・ 特定、代替フロン封入機器を適正に管理することにより、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。
- ・ PCB、化学薬品についても適正な管理を行っています。

項 目	基準年 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
特定フロン封入機器 廃棄時の適正回収率	100%	100%	100%
代替フロン封入機器 廃棄時の適正回収率	100%	100%	100%

## 2 - 7 公共事業に伴う環境負荷の低減

- ・ 公共事業が環境に与える影響を少しでも低減するよう、建設廃材の再資源化率の向上を目標とします。
- ・ 公共事業における環境負荷の低減を図るために、「公共事業環境配慮要領」に基づき、一定規模以上の事業について自己チェックを行っています。

項 目	基準年 (H21年度)	平成25年度	目標年(H27年度) (目標値)
建設廃材の再資源化率	72%	27.1%	95%

### 3 島田市の温室効果ガス排出量（参考）

ここでは島田市域における平成23年度の温室効果ガス排出量について報告します。（静岡県地球温暖化防止活動推進センター委託による推計・算定）

#### 3-1 島田市における温室効果ガス排出量の推移

- ・温室効果ガス排出量は140万6千t- CO<sub>2</sub>（全国の0.11%）で、前年度と比較すると8.1%の増加となりました。なお、全国では前年度と比べて4.0%の増加となっています。

（単位：千t-CO<sub>2</sub>）

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比 増減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	1,242.9	1,252.1	1,261.5	1,367.0	+ 8.4%
メタン (CH <sub>4</sub> )	13.5	14.0	13.6	13.4	1.4%
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	20.9	20.9	19.3	19.5	+ 1.2%
ハイドロフルオロカーボン (HFCs)	9.4	8.4	6.2	6.1	1.2%
パーフルオロカーボン (PFCs)	0.0	0.0	0.0	0.0	-
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.4	0.3	0.29	0.34	+ 16.8%
合計	1,287.1	1,295.7	1,300.9	1,406.4	+ 8.1%
<比較> 全国	1,280,619.9	1,209,213.2	1,257,981.9	1,307,728.8	+ 4.0%

端数処理により合計・増減率と一致しないことがあります。

#### 3-2 島田市における部門別二酸化炭素排出量の推移

- ・パルプ・紙・紙加工品製造業の出荷額が前年度と比べて18.1%増加したことにより、産業部門からの排出量が前年度より12.9%増加しました。
- ・民生部門における電力消費量は、家庭部門では前年度比 4.2%、業務部門では前年度比 3.2%でしたが、原子力発電所の運転停止により火力発電の稼動が増えた結果、購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数が9.5%上昇したことにより、電力消費起源のCO<sub>2</sub>が増加しました。

（単位：千t-CO<sub>2</sub>）

部門	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比 増減率
産業	774.6	776.0	765.8	864.6	+ 12.9%
運輸	258.0	254.7	270.0	261.7	3.1%
民生・家庭	147.0	145.9	148.4	156.5	+ 5.4%
民生・業務	51.4	57.9	59.9	64.5	+ 7.7%
廃棄物処理	11.8	17.6	17.3	19.7	+ 13.5%
合計	1,242.9	1,252.1	1,261.5	1,367.0	+ 8.4%
<比較> 全国	1,213,252.9	1,144,569.4	1,191,947.4	1,240,684.0	+ 4.2%

項目について

- 産業・・・製造業や建設業、加工業など、市内の工場による排出量
- 運輸・・・鉄道、貨物車、乗用車(自家用車を含む)の使用による排出量
- 民生・家庭・・・家庭の電気・ガス・灯油による排出量
- 民生・業務・・・民間施設(店舗・オフィスなど)、公共施設による排出量
- 廃棄物処理・・・家庭、事業の一般廃棄物処理による排出量